

# 着実に前進する動労千葉



## 日刊動労千葉

79.4.22

No.全国版10

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二二五八〇九・公衆(国電)二二七二〇七

### あせりから凶暴化する『本部』暴力ドロウ集団

全国の動労組合員の皆さん! 動労「本部」・暴力集団は動労千葉各支部へ連日襲撃を行い、何も獲得できないまま、消耗に消耗を重ね、焦りかられてさらに凶暴化し殺那的に庁舎や掲示板を破壊し、ピラをはがし、マジックインキで庁舎のいたる所に落書きし(風呂場の中まで)ています。動労千葉は対決すべきときは断固対決し、ある時は全く無視し、この動労「本部」・暴力集団のたくらみを粉砕し続けています。動労千葉のこの間の闘いは、単に破壊襲撃を粉砕するのみに止まらず、四月一八日、前日の革マル学生を先頭に立てた襲撃を見事にはね返し一一支部の先陣を切った津田沼支部結成大会を皮切りに、四月一九日、館山支部、四月二一日新小岩支部と続々結成大会を成功させ、今後一週間にも続々と結成大会が開催される予定です。動労千葉一四〇〇名労働者は、われわれの団結力の前に、ますますそのファッショ的本性をムキ出しにする動労「本部」・暴力集団に「これが労働運動なのか」という怒りを燃やし、自らの正義性にますます確信を深め、すでに千名を越えて増え続けている「動労千葉団結署名」を更にうち固め、一步一步着実に勝利へ向って前進しています。

六五〇名の襲撃をはね返し新小岩支部結成大会圧倒的成功をかちとる!

四月二一日「本部」・暴力集団は約四〇〇名が新小岩支部へ、約二五〇名が千葉運転区支部へ押しかけ例によって、暴力の限りを尽して引きあげました。

動労千葉はこの日、全支部からの動員体制をもって新小岩支部結成大会を守り抜きました。新小岩支部組合員が結成大会を行っている間中四〇〇名の「本部」・暴力集団はガラスを割り、ドアを破壊し、投石し、会場突入をはかりました。だが一四時三〇分、新小岩支部結成大会は満場一致で方針案、予算案等を確認し、松崎支部長以下の執行体制をそのまま「国鉄千葉動力車労働組合新小岩支部」の役員として選出し、新生新小岩支部は力強い第一歩を印しました。

まさに労働運動を逸脱!

この結成大会の大成功に焦る彼らは、腹いせに防火用水のバケツをスクラムの中へ投げ込み、防火用水のフタを投げて二階の窓ガラスを割るなどして、また、無人の組合事務所をこじ開けて、中にあった女子職員の手さげ袋と掛け時計を盗んで総勢六五〇名の見苦しい姿をさらしながら引きあげてゆきました。

また、千葉運転区へ現われた二五〇名の集団は、ひとりも組合員のいない庁舎へ「見学させてくれ」と当局に頼み込んでコソ泥的に入り込み、掲示やピラをはがし「今どきこんなピラのはってある職場は全国どこに行ってもない。管理責任はどうなっているのだ」と当局にヤツ当たりして帰ってゆきました。

まさに、労働運動を逸脱した暴力・泥棒集団としか言いようのない実態と言えます。

良心的動員者をどう喝し引きまわす『本部』

この日の六五〇名の行動では積極的に暴力的襲撃を繰り返す教育センター鈴木真一ら五〇名位に引きまわされている実態が示されていました。多くの良心的役員・活動家をタテにして入り込んだ暴力分子は、良心的役員・活動家を全体の前で「本部」の宣伝カーの上に引き上げ、どう喝しながら中執を先頭にムリヤリ「決意表明」をやらせ、新小岩支部結成大会の妨害をやらせていました。その姿を二階の窓から眺めながら、新小岩支部大会代議員、傍聴者は「あんな風にはなりたくないものだ。そのためには勇気をもって団結しなければダメだ」と一層の決意を固めていったのです。

三月三〇日、関川委員長以下千葉の指導部への「除名」「組合員権停止」をはじめ、四月一日錦糸町駅での集団テロ。リンチ、それ以降連日わたるわが拠点職場へのたび重なる武装襲撃・乱入・破壊・テロの数々。とりわけ四月一七日の津田沼支部への武装襲撃!! 革マル学生を先頭に一五〇名が竹竿を構え突入し、引きたおして石で頭をなぐりつけ頭蓋骨々折の重傷を負わせる蛮行―これが動労本部を名のる暴力・泥棒集団の正体なのです。これが労働運動と言えるでしょうか!

全国の動労組合員の皆さん!

動労千葉の組合員は、「動労大改革」の確信にもえ意気高く闘い、ますます団結を固めています。勇気をもって、動労千葉とともに闘いましょう!